

[令和3年度一般質問(令和3年12月7日)]
**神奈川県議会本会議場にて
 黒岩知事と議論!**



神奈川県議会本会議場にて
 一般質問する渡辺議員

1 大河ドラマを契機とした県内周遊の促進を

私の地元、伊勢原市は、観光の核づくり地域である大山地域など大河ドラマゆかりの地が複数存在する。大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放映を契機とした、県内周遊の促進に具体的にどのように取り組んでいくのか。



※詳細は、『観光かながわNOW』をご覧ください。

[県からの回答]

伊勢原市をはじめ地域の魅力を知ってもらうため、広域的なプロモーションを展開する。

2021年12月中に大河ドラマの特設ウェブページを開設し、放送が始まる2022年1月以降、周遊マップの配布やポスターの掲示を行う。特設ウェブページや周遊マップでの情報発信に当たっては、ドラマゆかりの地のみならず、その周辺の観光情報も併せて提供することで、観光客の周遊を促進する。

**提案が
 実現!**

2 中小企業によるビジネスモデル転換への支援について

神奈川県議会議員 **渡辺のりゆき**
 [渡辺のりゆき政務活動事務所]
 〒259-1133 伊勢原市東大竹780-1
 Tel.0463-94-9020 / Fax.0463-94-9030

- ・文教常任委員会 委員長
 - ・自然環境保全審議会
 - ・社会問題対策特別委員会 委員
 - ・自然保護部会委員
 - ・自由民主党神奈川県議会議員団
 - ・伊勢原市都市計画審議会委員
- (2022年4月30日現在)

渡辺のりゆき <https://watanabe-noriyuki.com/>

3 統一型避難誘導標識の設置の推進を

災害時に誰もが安心して避難できるよう、適切な避難誘導標識の設置など、市町村の避難誘導対策の強化に向けて、県は支援してほしい。



[県からの回答]

避難誘導標識の作成にあたっては、補助金を支出する。避難誘導標識を作成する際には、市町村地域防災力強化事業費補助金の対象にしている。避難誘導標識の設置を促進するとともに、デジタル技術も活用しながら、災害時における避難誘導対策の強化を図っていく。

**今後の
 検討!**

4 伊勢原射撃場の課題と今後の活用について



5 農地への違法盛土の防止について

6 県営住宅を建て替える時の入居者意見の反映について

7 用地取得の今後の取組について

※詳細は、神奈川県HPをご覧ください。



もっと、伊勢原をいいまちに。

国県、市との継続的な信頼関係の構築を

神奈川県議会議員 [伊勢原市選出]

渡辺のりゆき



県政レポート
VOL.13
 ■発行日:2022年5月

自分のための「志」であれば、決して成し遂げない。
 相手を思う気持ちの中にしか「志」は存在しないという教訓を
 自問自答することで、真のリーダーが生まれると信じて

私は政治や経営には、「ぶれない軸」が必要だと考え、これを念頭に置いて今日まで活動してきました。

議員としてまだ期数が若いときは、先輩議員、地元後援会の皆さまから「確乎不拔(かっこぶたつ)の志」をしっかりと植えつけられ、どんなに苦しくても「志」が揺らいではならない、と説かれました。しかし、「志」も挫折すればしぼみ、地位を得ると変容しやすいものです。いかに厳しい状況でも確固とした「志」が人には必要だと肝に銘じています。

「志」はそれぞれが進む先にあるもので、考えは人によって違います。しかし、それは何のためか、誰のためかと問われると、自分のための「志」であっては、決して成し遂げません。相手を思う気持ちの中にしか「志」は存在しないと思います。理念は進化するが「志」は不易であるといわれます。

また、事業の見直しや新規事業の成否を占う基本的な方法は、「市民よし」「行政よし」「未来よし」の視点で確認することです。

①市民と行政の関係は、これからも良好に推移するか?

②現状は期待される状況になっているだろうか?

③未来の人に喜ばれる取り組みだろうか?

そのため、リーダーには“三方チェック”が欠かせません。事業を展開するための「攻め」と「守り」はできるのか、何よりも事業に対する「志」はみんなの方向を向いているか…。

事業の成否は、なりよりもリーダーの生き様がカギを握るのでしよう。

情報社会が進展する中で、私たちは毎日、膨大な量のニュースシャワーを浴びています。多くの情報の中で、自分の「軸」を見失わずに、「事実」を確認し、「真実」を見極めて判断・行動することが大切です。

一人ひとりの心の中で思い描いたものが、現実となっていきます。自分、相手、社会を良くしていくためには、「心の三方よし」がなくてはなりません。

私は、県議会議員として、明確な「志」と「心の三方よし」を持って、これからも皆様に与えていただいた職務を、着実に果たしていきます。

「ぶれない軸」という考え方



神奈川県観光の核「大山、日向」への
アクセス向上に伴う
沿道住民の生活環境の改善に期待!

[予算委員会での質疑応答内容(抜粋)]



新東名高速道路の伊勢原大山ICから新秦野ICまでの区間が4月に開通する。
これにより丹沢・大山地域の交通利便性が格段に向上する。
インターチェンジ周辺の道路整備を進め、産業や観光の振興を図り、
地域の活力を向上させる取組を進めていくことが重要でありこの度、質問しました。

Q 開通した区間では、沿線地域の活性化にどの
ように寄与しているか?

A 静岡県、愛知県のケースでは、開通前と開通後
では、工場立地件数が静岡県内では約2.6倍、
愛知県内では約1.2倍と大きく増加し、地域の
活性化に寄与している。

Q 活性化するには、取付け道路などの路線の整備
も必要ではないか?

A 大山バイパスは完成し、県道603号(上粕屋厚
木)は用地取得が完了し、令和5年度の完成を
目指して進めている

Q 令和4年度、県が実施する道路整備に係る予算
総額は?

A 道路整備に係る当初予算案は、総額102億500余
万円を計上している。

Q 我が伊勢原には、新東名高速道路が開通して、
多くの観光客が来られると期待している。
大山、秦野地域の観光振興を含めて、県内周遊
観光の予算への反映はどうか。

A 令和4年度当初予算案では、大河ドラマを契機
とした観光プロモーションの取組に3,400万円
余を計上している。ドラマゆかりの地を活用した
デジタルスタンプラリーの実施等を通じて、大
山地域を含めた県内周遊を促す取組を進める。

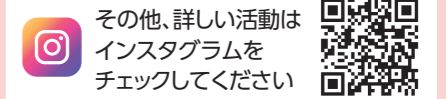
4/16

新東名高速道路
新秦野IC開通式典
に参加しました!



地域活動

コロナ禍での感染症対策を継続しながら、
活発な地域活動を実施しています。
2021年9月~2022年4月までの活動抜粋



市内公民館まつりへ参加



市内20ヶ所のラジオ体操へ参加



考古資料展を視察



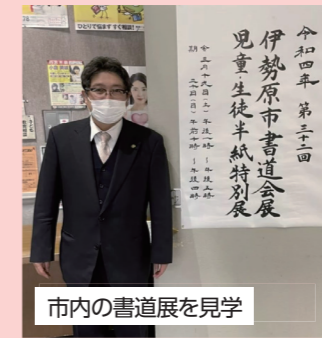
第4回いせはら音楽祭



イセハライチへ参加



県道64号(伊勢原津久井線)の視察



市内の書道展を見学



大山急傾斜地を視察



ウクライナ人道支援活動で
甲冑隊のみなさんと



自由広場完成式典へ参加



東大竹八幡神社例大祭



市内企業への視察



うまいものいちへ参加



ウクライナ人道支援活動



夜間中学開校式



伊勢原警察署大田駐在所新設



日向薬師例大祭



盆栽展(中央公民館)へ参加



県立図書館の工事進捗確認



地域の防犯パトロールへ参加